

◇ 日 本 史

日 4－1～日 4－15 まで 15 ページあります。

第 1 問 原始・古代における東アジア情勢について述べた次の文章 A～Cを読み、
下の問い（問 1～13）に答えなさい。

A

弥生時代の日本列島のようなすは、(1) 中国の歴史書などから知られる。たとえば、57年には、倭の奴国の王が（ア）へ使者を派遣して、光武帝から印綬を受けた。中国史書には(2) 4世紀における倭の記事がみられないが、(3) 古墳時代の中期にあたる5世紀には、倭の五王があいついで中国に使者を派遣した。6世紀には、倭から中国への遣使は行われなかったと考えられているが、飛鳥文化期の彫刻の一部は、6世紀前半まで存続していた中国南北朝時代における北魏の影響を強く受けている。

問 1 下線部（1）に関連して、次の史料は、弥生時代の倭のようすを記した「魏志」倭人伝の一部である。史料中の空欄（X）（Y）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

倭人は（X）の東南大海の中に在り、山島に依りて国邑を為す、・・・
・・・今、使訳通ずる所（Y）国、・・・

- | | | | |
|--------|------|--------|-----|
| ① X 帯方 | Y 三十 | ② X 帯方 | Y 百 |
| ③ X 楽浪 | Y 三十 | ④ X 楽浪 | Y 百 |

問 2 空欄（ア）に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- | | | | |
|---------|------|-----|-----|
| ① 晋（西晋） | ② 後漢 | ③ 秦 | ④ 蜀 |
|---------|------|-----|-----|

問3 下線部(2)に関連して、4世紀における倭と朝鮮の関係について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

3

- ① 倭の軍が朝鮮半島に渡り、高句麗の好太王の軍と交戦した。
- ② 倭の軍が朝鮮半島に渡り、百済を滅ぼした新羅の軍と交戦した。
- ③ 高句麗の僧曇徴が来日し、彩色・紙・墨の技法を伝えた。
- ④ 百済の僧観勒が来日し、暦法を伝えた。

問4 下線部(3)に関連して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

4

- ① 倭の五王は、中国南朝の宋に使者を派遣した。
- ② 倭王武は、中国皇帝から安東大將軍の称号を与えられた。
- ③ 大阪府の高松塚古墳は、中期最大規模の古墳とされている。
- ④ 中期の古墳は、武器・武具の副葬品の割合が高いことで知られる。

B

東アジア情勢が緊張するなか、(イ)のもとで大化改新が推進され、淳足柵や磐舟柵も設けられた。(4) 7世紀後半には阿倍比羅夫が派遣され、8世紀には出羽国が設けられるなど、蝦夷の居住する東北地方に(5) 律令政府の支配が浸透していった。一方で、蝦夷の抵抗が強まり、桓武天皇のもとでは、797年に(ウ)に任じられた坂上田村麻呂がその制圧を進めた。(6) 嵯峨天皇のもとでは文室綿麻呂が派遣され、最後の城柵である徳丹城が築かれた。

問5 空欄(イ)に入る、次の条文を含む詔を出した天皇として正しい人物を、下の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 5

昔在の天皇等の立てたまへる子代の民、処々の屯倉、及び、別には臣・連・伴造・国造・村首の所有る部曲の民、処々の田莊を罷めよ、・・・

- ① 推古天皇 ② 聖武天皇 ③ 孝徳天皇 ④ 元明天皇

問6 下線部(4)に関連して、7世紀後半を中心に形成された白鳳文化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 6

- ① 代表的な絵画として、『高野山聖衆来迎図』があげられる。
② 代表的な建築物として、薬師寺東塔があげられる。
③ 『凌雲集』など、勅撰漢詩文集が編まれた。
④ 『古今和歌集』など、勅撰和歌集が編まれた。

問7 下線部(5)に関連して、律令制度や律令国家のもとでの支配体制に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 7

- ① 律令制下の税制において、租は男女ともに課された。
② 律令制下の身分制度では、民衆は良民と賤民にわけられた。
③ 中央から郡司が派遣され、そのもとで国司が地方を支配した。
④ 中央の太政官では、左大臣や右大臣らによる合議が行われた。

問8 空欄（ ウ ）に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ
選りなさい。

解答番号 8

- ① 按察使 ② 押領使 ③ 征夷大將軍 ④ 追捕使

問9 下線部(6)に関連して、嵯峨天皇の時代に起こった事件として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 9

- ① 承和の変 ② 長屋王の変
③ 平城太上天皇の変（葉子の変） ④ 恵美押勝（藤原仲麻呂）の乱

C

原始・古代の九州は、先進的な文物が流入する窓口となり、対外関係や軍事・防衛面で、重要な役割を果たした。福岡県の板付遺跡などから(7) 縄文時代晩期の水稻農耕、佐賀県の(エ)などから弥生時代の環濠集落のようすが知られる。6世紀にヤマト政権が地方支配を強めると、筑紫国造磐井は(オ)と結んで反乱をおこした。7世紀に倭の軍が白村江の戦いで唐・(オ)の連合軍に敗れたあとは、朝鮮式山城や水城が築かれるなど、九州では緊張が高まった。律令制下において、西海道を統轄するために置かれた(8) 大宰府は、奈良時代や平安時代の政治に深く関わった。

問10 下線部(7)に関連して、縄文時代の社会や生活について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 10

- ① 女性をかたどった埴輪を用いて、祭祀を行っていた。
- ② 水稻農耕に用いた木製農具は、鉄器によって製作された。
- ③ 漁労には、釣針・銚などの骨角器が利用された。
- ④ ナウマンゾウなどの大型動物を捕獲するため、弓矢が利用された。

問11 空欄(エ)に入る遺跡の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 11

- | | |
|----------|---------|
| ① 吉野ヶ里遺跡 | ② 荒神谷遺跡 |
| ③ 三内丸山遺跡 | ④ 岩宿遺跡 |

問12 空欄(オ)に入る国名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 12

- | | | | |
|------|------|------|-------|
| ① 渤海 | ② 新羅 | ③ 百済 | ④ 高句麗 |
|------|------|------|-------|

問13 下線部（8）に関連して、奈良時代から平安時代にかけての大宰府に関する出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

13

- ① 藤原広嗣が吉備真備らの排斥を求め、大宰府で反乱をおこした。
- ② 藤原頼通のもとで、大宰府に官田（元慶官田）が設けられた。
- ③ もと伊予の国司であった平将門が、大宰府を攻め落とした。
- ④ 藤原道長の策謀によって、菅原道真が大宰府に左遷された。

第2問 中世から近世にかけて政治史上大きな役割を果たした3人の女性に関する次の文章を読み、下の問い（問1～問12）に答えなさい。

最初の女性は、北条政子である。伊豆の豪族北条時政の娘であった政子は、源頼朝が平治の乱によって京都から伊豆へ流されると、周囲の反対を押し切り、大恋愛の末に結婚したと言われる。(1) 頼朝は、平氏や同じ源氏一族との争いに勝利して、武家政権としての鎌倉幕府を確立していった。鎌倉幕府は(2) 頼朝との主従関係にもとづく封建制度によって成り立っている政権であった。

頼朝という卓越したリーダーシップを持つ武人によって御家人を統率したが、彼が死去すると、政権の不安定さが露わになった。頼朝と政子の子であった頼家や実朝が将軍となるなかで、鎌倉幕府は有力御家人が政権を担当する、十三人の合議制を中心に運営された。その中で他の御家人よりも抜きん出た存在となったのが、政子の実家北条氏であり、(3) 執権として幕政を担った。政子自身もまた幕政の主導権を持ち、1205年には父時政を失脚させ、1218年には上洛して、京都の実力者藤原兼子と対面した。1219年、実朝が頼家の遺児公暁に暗殺される事件がおけると、これをきっかけに京都の後鳥羽上皇は義時打倒の兵をあげた。(4) 承久の乱である。この時、政子は鎌倉に東国御家人を集め、「頼朝への恩は海よりも深い。恩を返す時は今ではないか」と呼びかけた。有名な「いざ鎌倉へ」である。戦いは幕府軍の圧勝に終わり、幕府による全国支配がより進んでいった。政子の死後も、政子の甥である3代執権北条泰時の指導のもと、連署・評定衆の設置、御成敗式目の制定と支配機構の整備が進んだのであった。

二人目の女性は、室町幕府8代将軍足利義政の正室であった日野富子である。富子の父は公家の日野重政で、日野家は(5) 後醍醐天皇の側近として活躍した日野資朝や日野俊基を輩出した家であった。日野家では、将軍(6) 足利義満や、その子義持、さらに(7) 足利義教の各代に渡って、息女を将軍の妻として送り出し、「将軍家正室」の家としての地位を確立していった。富子もまたこうした日野家の先例があって、義政の正室となったのである。しかし富子の夫義政の時代の室町幕府は、将軍権力の衰退期に入っていた。全国で一揆が頻発しており、また将軍家や守護家の中で、家督争い問題がおこり、応仁の乱が始まった。この間、文化活動に傾倒し(8) 東山文化の中心にいた義政の背後で、富子は、幕府の諸事を差配し、実子であった義尚を9代将軍に据えた。ただ、義政は幕府の外交権は手放さず、(9) 日明貿易を推進していた。富子は、義政が死去すると、幕府政治から身を引いていったようで、以後、史料にはほとんど現れなくなる。

最後の女性は、江戸幕府3代将軍の乳母であった春日局（斎藤福）である。春日

局の父は織田信長の重臣明智光秀の家臣であったが、本能寺の変がおきると、明智光秀が(10) 備中国高松城攻めから引き返してきた豊臣秀吉と山崎の戦いで争い敗れたため、流浪する身となった。しかしのちに江戸幕府3代将軍(11) 徳川家光となる竹千代の乳母となったことで、江戸城における将軍やその妻子が居住する大奥の基礎を作るとともに、幕府の中でも大きな力を持つようになった。家光は、春日局を信頼し、大奥の一切を取り仕切らせた。家光の子で後に4代将軍となる(12) 徳川家綱の母お楽は、春日局が見出して家光の側室にしている。また同じく家光の子で5代将軍徳川綱吉の母桂昌院も春日局の目にとまった女性であった。春日局は大奥で大きな権力をふるったイメージがある。なお、1643年に死去する際には、辞世の句として「西に入る 月を誘い 法をへて 今日ぞ火宅を 逃れけるかな」(仏の道に入っていくにあたって、ようやく俗世から解放されることが嬉しい)と詠んでいる。

問1 下線部(1)に関連して、源氏一族の中でこの源平の争乱に参加していない人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 14

- ① 源義仲 ② 源範頼 ③ 源満仲 ④ 源頼政

問2 下線部(2)に関連して、頼朝との主従関係にもとづく封建制度について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 15

- ① 御恩の例として、御家人の父祖伝来の土地の保持権を保障する本領安堵がある。
- ② 御恩の例として、御家人に対して、その功績によって新たな領地を与えることがあげられる。
- ③ 御恩の例として、御家人を地頭職や守護職に任命することがあげられる。
- ④ 奉公の例として、御家人が京都大番役についたり、御料所を管理することがあげられる。

問3 下線部(3) 執権に関連して述べた次の文X・Yについて、正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 16

X 執権になることができたのは得宗のみである。

Y 政所や侍所の別当を兼ねた執権もいた。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X—正 | Y—正 | ② X—正 | Y—誤 |
| ③ X—誤 | Y—正 | ④ X—誤 | Y—誤 |

問4 下線部(4) 承久の乱について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 17

- ① 承久の乱で後鳥羽上皇は、畿内・西国の武士の他、東国の武士の一部も味方につけた。
- ② 承久の乱後、幕府は六波羅探題を置いた。
- ③ 承久の乱後、院政は行われなくなった。
- ④ 承久の乱後、幕府は朝廷の政治にも干渉した。

問5 下線部(5) 後醍醐天皇について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 18

- ① 後醍醐天皇は、持明院統の出身である。
- ② 後醍醐天皇は、正中の変には関わったが元弘の変には関わっていない。
- ③ 後醍醐天皇は、建武の新政において国司と守護を併置した。
- ④ 後醍醐天皇が設けた雑訴決断所は、院評定衆を受け継いだ。

問6 下線部(6)足利義満に関係する出来事Ⅰ～Ⅲについて、年代の古い順に並べた時、正しい順番を、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

解答番号 19

- Ⅰ 南北朝の合体を実現した。
- Ⅱ 応永の乱がおこった。
- Ⅲ 京の室町に花の御所をつくった。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ① Ⅰ—Ⅱ—Ⅲ | ② Ⅰ—Ⅲ—Ⅱ | ③ Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ |
| ④ Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ | ⑤ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ | ⑥ Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ |

問7 下線部(7)足利義教に関連して述べた次の文X・Yについて、正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 20

X 永享の乱により足利基氏を滅ぼした。

Y 嘉吉の変により赤松満祐を滅ぼした。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X—正 | Y—正 | ② X—正 | Y—誤 |
| ③ X—誤 | Y—正 | ④ X—誤 | Y—誤 |

問8 下線部(8)東山文化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 21

- ① 龍安寺や大徳寺大仙院などでは枯山水がつくられた。
- ② 観阿弥によって、猿楽能が大成された。
- ③ 南北朝の内乱について記した『太平記』が成立した。
- ④ 出雲阿国によるかぶき踊りが流行した。

問 9 下線部 (9) 日明貿易に関連して述べた次の文 X・Y について、正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 22

X 義満は遣明船を派遣して朝貢貿易形式で取り引きした。

Y 幕府の衰退に伴い、貿易の実権は堺の商人と組んだ大内氏と博多の商人と組んだ細川氏の手に移った。

① X—正 Y—正

② X—正 Y—誤

③ X—誤 Y—正

④ X—誤 Y—誤

問 10 下線部 (10) 備中国に関連して、備中国を含む現在の都道府県として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 23

① 岡山県

② 島根県

③ 徳島県

④ 山口県

問 11 下線部 (11) 徳川家光の政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 24

① 姉である和子（東福門院）を後水尾天皇に入内させた。

② 新たな武家諸法度を発して、大名へ参勤交代を義務づけた。

③ 諸社禰宜神主法度を定めて、吉田家を本所とした。

④ 末期養子の禁止を緩和した。

問 12 下線部 (12) 徳川家綱の治世に起きた出来事として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 25

① 赤穂事件

② 島原の乱

③ 蛮社の獄

④ 明暦の大火

第3問 近世の大坂に関する次の文章を読み、下の問い（問1～13）に答えなさい。

(1) 織田信長が淀川河口の要地にある本願寺に立ち退きを求めた1570年、本願寺の顯如が(2) 一向宗門徒に決起を促し、織田側と一向宗勢力との間で石山戦争が始まった。以後、和睦と戦闘を繰り返し、1580年に正親町天皇の勅命による講和をのんで11年にわたる戦争が終結した。石山本願寺は戦争終結の際に生じた火災で焼失し、その跡地には(3) 豊臣秀吉によって壮大な大坂城が建設された。

1600年の関ヶ原の戦いののち、江戸幕府のもとで(ア)は60万石の大名にすぎなくなった。しかしながら、堅固な大坂城と大名・公家に対して影響力をもつ(ア)の存在は、幕府にとって脅威であった。

駿府に移り、大御所としてなお実権を掌握していた徳川家康は、豊臣氏が建立した(イ)の鐘銘問題を口実に戦端を開いた。幕府は、1614年と1615年の2回にわたって大坂城を攻め、(ア)を自殺させて豊臣氏を滅ぼした。その後、幕府は1619年に(4) 大坂を直轄地とし、大坂城代をおいて西国大名の監察などを担わせた。

(5) 17世紀後半に海上交通網が整備され、全国的な商品流通が盛んになると、諸藩の蔵屋敷が置かれた大坂は物資の集散地となった。大坂と江戸とを結ぶ南海路には、(ウ)が就航し、全国一の消費都市となった江戸には、(6) さまざまな商品が大坂から大量に流入した。

大坂は経済の中心地であったが、文化人が活動の拠点とした場所でもあった。たとえば、元禄文化の頃に活動した(7) 井原西鶴は、大坂の商家で生まれ、大坂で没した。18世紀前半に大坂町人の出資を得て設立された(エ)は、準官学とされた。

大坂は江戸・京都とならんで三都に数えられる都市であった。そのため、(オ)の飢饉を背景に、(8) 1837年に起こった大塩平八郎の乱は、幕府に衝撃を与えた。

問1 下線部(1)に関連して、織田信長が発した法令として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

26

- | | |
|-----------|-------|
| ① 海賊取締令 | ② 刀狩令 |
| ③ バテレン追放令 | ④ 楽市令 |

問2 下線部（2）に関連して、一向宗門徒らが1488年に守護富樫政親を滅ぼし、その後約100年間にわたって一国規模で自治支配を行った国として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 27

- ① 伊勢国 ② 加賀国 ③ 三河国 ④ 山城国

問3 下線部（3）に関連して、豊臣秀吉の時代を中心に形成された桃山文化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 28

- ① 高三隆達が小歌に節づけした隆達節は、民衆の人気を博した。
② 近松門左衛門の人形浄瑠璃の作品が、竹本義太夫によって語られた。
③ 川柳のほか、大田南畝や石川雅望らを代表的作家とする狂歌が盛んに作られた。
④ 天理教、黒住教、金光教などの民衆宗教が生まれた。

問4 空欄（ア）（イ）に入る人物と語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

解答番号 29

- ① ア 織田信雄 イ 方広寺 ② ア 織田信雄 イ 南禅寺
③ ア 豊臣秀次 イ 方広寺 ④ ア 豊臣秀次 イ 南禅寺
⑤ ア 豊臣秀頼 イ 方広寺 ⑥ ア 豊臣秀頼 イ 南禅寺

問5 下線部（4）に関連して、大坂とは異なり、江戸幕府の直轄地には該当しない場所を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 30

- ① 堺 ② 名古屋 ③ 奈良 ④ 日光

問6 下線部（5）に関連して、17世紀後半の政策や出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 31

- ① 異国船打払令が出され、清・朝鮮・琉球以外の外国船の撃退が命じられた。
- ② 松平定信のもとで、聖堂学問所では朱子学以外の儒学を講義することが禁じられた。
- ③ 分割相続による田畑の細分化を防ぐため、分地制限令が出された。
- ④ 貿易統制のため、オランダ商館が平戸から長崎出島に移された。

問7 空欄（ウ）に入る語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

解答番号 32

- | | |
|------------|------------|
| ① 菱垣廻船・奉書船 | ② 菱垣廻船・朱印船 |
| ③ 菱垣廻船・樽廻船 | ④ 奉書船・朱印船 |
| ⑤ 奉書船・樽廻船 | ⑥ 朱印船・樽廻船 |

問8 下線部（6）に関連して、江戸時代の特産品について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 33

- ① 肥前有田で生産された磁器は、長崎貿易の輸出品にもなった。
- ② 河内の木綿・近江の麻・奈良の晒など、織物の名産が各地に生まれた。
- ③ 京都の九谷焼が広く知られるようになった。
- ④ 伏見や灘の銘酒が生まれ、各地に酒屋が発達した。

問9 下線部（7）に関連して、井原西鶴の作品には該当しないものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 34

- | | |
|-----------|-----------|
| ① 『好色一代男』 | ② 『世間胸算用』 |
| ③ 『曾根崎心中』 | ④ 『日本永代蔵』 |

問10 空欄（エ）に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 35

- | | |
|------------|-------|
| ① 懷徳堂 | ② 芝蘭堂 |
| ③ 適塾（適々斎塾） | ④ 鳴滝塾 |

問11 空欄（オ）に入る年号として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 36

- | | | | |
|------|------|------|------|
| ① 寛政 | ② 享保 | ③ 天保 | ④ 天明 |
|------|------|------|------|

問12 下線部（8）に関連して、大塩平八郎の乱と同じ1837年に起こったアメリカ船を砲撃した事件の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 37

- | | |
|--------------|-----------|
| ① ゴロー（ウ）ニン事件 | ② 生麦事件 |
| ③ フェートン号事件 | ④ モリソン号事件 |

問13 下線部（8）に関連して、同じ1837年に「大塩門弟」と称して、越後柏崎で蜂起した国学者として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 38

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| ① 生田万 | ② 賀茂真淵 | ③ 平田篤胤 | ④ 本居宣長 |
|-------|--------|--------|--------|